

能登半島地震を踏まえた災害対策の強化について

1 概要

能登半島地震により、通信途絶や道路寸断等、災害対策活動に影響が出たことを踏まえ、災害対策の強化を目的とし、無人航空機（ドローン）とMCA無線の配備及び災害備蓄の強化を図る。

2 実施事業

(1) 災害時における無人航空機を活用した情報収集体制の強化

①目的

災害時に、無人航空機の活用に関する協定を区内民間事業者と締結しているが、大規模災害時には、協定事業者の協力を得られない場合も想定される。そのため、区独自でドローンを保有するとともに、区職員の中から操縦士を育成することにより、情報収集体制の更なる強化を図る。

②実施内容

- ・機体購入2機（小型及び大型各1機）
- ・二等無人航空機操縦士技能証明取得 3名（講習及び試験）
- ・ドローン操縦訓練（定期的に実施）

③実施時期

令和6年8月 ドローン操縦士選抜
令和6年12月 技能証明取得
令和7年1月～ 運用開始及び定期訓練実施

④補正予算額（案）

5,505千円



(2) 災害時における情報連絡体制の強化

①目的

災害時に、電話回線等で通信障害が起きた場合、無線が配備されていない二次避難所や一時滞在施設では、計画的な避難誘導等が困難となり、混乱の発生が想定される。そのため、二次避難所や一時滞在施設、災害対策本部に無線を配備することにより、情報連絡体制の更なる強化を図る。

②実施内容

災害に強いMCA無線を二次避難所、一時滞在施設及び災害対策本部に配備する。

③実施時期

令和6年9月～ アンテナ設置現地調査及び工事
令和6年10月～ 運用開始

④補正予算額（案）

24,191千円

MCA無線の特徴

- 耐震性に優れた中継局
- 非常用発電機等が整備されている
- 画像の撮影・送信が可能



(3) 防災拠点倉庫の調査等の実施および備蓄物資配置マニュアル作成

①目的

防災拠点倉庫の現状と課題を整理し、災害時における物資輸送体制の改善を図る。

②実施内容

防災拠点倉庫19か所の倉庫内の備蓄品目及び数量確認、倉庫使用可能面積の測定、倉庫の課題洗い出しを行うとともに、備蓄品の配置や効果的な倉庫レイアウト等、防災拠点倉庫の運用の考え方をまとめる。

③実施時期

令和6年8月～11月 調査実施
令和7年3月 備蓄物資配置マニュアル作成

④補正予算額（案）

10,347千円